

大阪市とシカゴ(米国)の姉妹都市提携 50 年を記念し 天王寺動物園とブルックフィールド動物園が協働事業を行います

天王寺動物園では、今年で 50 年を迎える大阪市とシカゴ（米国）との姉妹都市提携を記念し、ブルックフィールド動物園（シカゴ）と協働事業を行います。

ブルックフィールド動物園を運営するシカゴ動物学協会では、2007 年よりフンボルトペンギンの繁殖地があるプンタ・サン・ファン（ペルー）の生態系や生物多様性の保全を促進するプログラムに参加しています。協働事業では、天王寺動物園とブルックフィールド動物園で上記プログラムを紹介するポスターを掲示し、野生での生息数が減少しているフンボルトペンギン等に対して来園者が学び、どのように支援すべきかを発信します。

【協働事業概要】

◆ポスター掲示日

令和5年7月28日（金曜日）掲示開始 ※掲示終了日は未定です。

◆ポスター掲示場所

天王寺動物園 ペンギンパーク

【シカゴ動物学協会について】

市民と野生生物をつなぐことで保全活動を促進することを目指す民営の非営利組織。1934年に米国イリノイ州で開園したブルックフィールド動物園を運営している。ブルックフィールド動物園は約 95 ヘクタールの園内に、500 種 3,400 点以上が飼育されている。

【天王寺動物園の概要】

■所在地及びアクセス 〒543-0063 大阪市天王寺区茶白山町1-108

各線「天王寺駅」「動物園前駅」「恵美須町駅」「新今宮駅」から徒歩約5分から10分

■開園時間 9時30分から17時（入園は16時まで） 5・9月の土・日・祝は18時まで（入園は17時まで）

注）休園日については[ホームページ](#)をご確認ください。

■入園料 大人 500 円、小中学生 200 円

注）障がい者手帳をお持ちの方、大阪市内在住・在学の小中学生、大阪市内在住で65歳以上の方は無料（公的証明書の提示、またはミライロ ID の登録画面の提示が必要です）

ペンギンの保護に みんなで取り組もう

世界自然保護の日 (World Nature Conservation Day) である2023年7月28日、アメリカ・シカゴと大阪の姉妹都市50周年を記念して、ブルックフィールド動物園 (シカゴ) と天王寺動物園 (大阪) はともに、ファンボルトペンギンの生息地保全を進めます!

天王寺動物園で飼育しているファンボルトペンギンは、南アメリカに生息しており現在、絶滅の危機に瀕しています。そこで、天王寺動物園では積極的に本種の繁殖に取り組み、飼育個体数の維持管理に貢献しています。

ブルックフィールド動物園では、2007年からファンボルトペンギンの繁殖地であるプンタ・サン・ファン (ペルー) の保全プログラムに参加しています。今回、本プログラムを紹介することで、天王寺動物園も協力することにいたしました。

まずは、日本からは遠い地、南米ペルーの現状をたくさんの方に知っていただくことが重要です。プンタ・サン・ファンの保護区には、数千羽の野生のファンボルトペンギンやオットセイが生息しています。

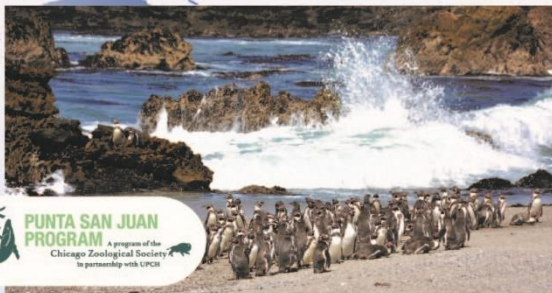
このパネルは天王寺動物園とブルックフィールド動物園で掲示されています。保全プログラムについての詳細や寄附の方法はQRコードからご確認ください。(英語のWEBページです。)



シカゴは約300万人の人口を誇るイリノイ州 (アメリカ) の都市です。1934年にブルックフィールド動物園が開園し、約95ヘクタールの園内に500種3,400点以上の動物が飼育されています。

シカゴ
アメリカ

プンタ・サン・ファン
(ペルー)



Learn more about the
Punta San Juan Program
and help with a donation.

ブルックフィールド動物園を運営するシカゴ動物学協会は、2007年以来、ペルーのファンボルト海流の海洋沿岸生態系についての知識を深め、その生態系保全を促進することを目的とするプンタ・サン・ファン プログラムに参加してきました。

